

令和7年度 墨田区立緑幼稚園 幼稚園経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 園長 河原 宏子

幼稚園教育目標	○みずから考えて行動する子ども○どんなこともがんばる子ども○りかいし合うあたたかい子ども
目指す幼稚園像	○園児・保護者・教職員・地域にとって魅力ある幼稚園
目指す幼児像	○いろいろなことに興味をもち、主体的に取り組み、最後までやり遂げる子ども ○人とふれあう喜びを実感し、素直に自分の思いを表現し人と心を通わせる子ども
目指す教師像	○幼児との信頼関係を築き、自己の資質向上に努め、保護者・地域からも愛される教員

<p>○令和7年度 幼稚園経営計画における重点内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びにつながる幼児教育の充実 ・教職員の力がつながるチーム保育の充実 ・地域・保護者とつながる教育の充実

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
保育活動等	○幼児の主体的な活動を促す教育を実施する。	○週案をたて、毎日計画を確認する。 ○2年間の発達の段階を踏まえた指導計画を基に作成する。	4	教職員と共通理解実施のための話合実施 週1回以上	4	教員自評「幼児の遊びの充実」達成80%以上	幼児一人一人の実態をよく把握し、適切な指導や環境を構成し教育活動を充実させた。	幼児と教師、教師と保護者、幼児同士、職員間のコミュニケーションを深め、全体で教育活動を推進する。	A	A	のびのびと学ばせている。
			3	教職員と共通理解実施のための話合実施 月3回以上	3	教員自評「幼児の遊びの充実」達成70%以上					
			2	教職員と共通理解実施のための話合実施 月2回以上	2	教員自評「幼児の遊びの充実」達成60%以上					
			1	教職員と共通理解実施のための話合実施 月2回未満	1	教員自評「幼児の遊びの充実」達成60%未満					
	○教員の指導力・授業力を高めるための組織的な取組等を行う。 ○特別な支援を必要とする幼児に対する、組織的な支援を行う。	○毎朝の朝会打合せと、教職員対象に園内研修会を年8回以上実施する。	4	園内研修会実施8回以上	4	学校評価「一人一人の子供を大切にしている」回答80%以上	指導力向上に向けた園内研修を月2回以上実施し、全職員を対象に人権感覚が身に付くよう研修を行ってきた。毎朝、全教職員と幼児の共通理解を深め、連携ができた。	引き続き、指導力向上に向けた園内研修を月2回以上実施するとともに、適切な支援の方法を共有する。	A	A	
			3	園内研修会実施7回以上	3	学校評価「一人一人の子供を大切にしている」回答70%以上					
			2	園内研修会実施6回以上	2	学校評価「一人一人の子供を大切にしている」回答60%以上					
			1	園内研修会実施6回以下	1	学校評価「一人一人の子供を大切にしている」回答60%未満					
	○人と関わる力を育む教育を実施する。	○学年間や近隣幼稚園、保育園との交流活動を通して、友達と関わりが生まれる計画をたてる。	4	計画交流の実施 週4回以上	4	教員自己評価「人と関わる力を育む」達成80%以上	教師間の連携を深め、学年同士から異年齢縦割り保育等を展開する機会を計画的に設定した。	少人数学級であることから、計画的に交流活動を実施できるよう、教職員他関係機関と連携を深める。	A	A	少人数の特性を、出せばよいと思う。 幼保の交流活動を計画し、人と関わる活動を豊かにしている。
			3	計画交流の実施 週3回以上	3	教員自己評価「人と関わる力を育む」達成70%以上					
			2	計画交流の実施 週2回以上	2	教員自己評価「人と関わる力を育む」達成60%以上					
			1	計画交流の実施 週2回未満	1	教員自己評価「人と関わる力を育む」達成60%未満					
生活指導等	○基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等を行う。	○幼児の情報を共有するため、毎週木曜日に学年会を実施するとともに、適時時間を設けて教員同士の話し合いを深めていく。	4	教員自評「幼児理解について」肯定的回答80%以上	4	学校評価「基本的生活習慣指導」回答80%以上	園内研修を月2回以上実施したことで、幼児の実態を捉え、指導内容を評価反省し、指導に生かすことができた。	園長、担任、支援員、介助員がチームとなり、朝会時に保育や安全面、幼児の実態を共通理解し、皆で見合いながら協力する体制を作る。	A	A	研修していることを、知らなかったのも、もっとアピールしてもよいと思う。 園の幼児が心の教育をされ、エキスパートになると思う。
			3	教員自評「幼児理解について」肯定的回答70%以上	3	学校評価「基本的生活習慣指導」回答70%以上					
			2	教員自評「幼児理解について」肯定的回答60%以上	2	学校評価「基本的生活習慣指導」回答60%以上					
			1	教員自評「幼児理解について」肯定的回答60%未満	1	学校評価「基本的生活習慣指導」回答60%未満					
	○問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。	○適時、遊びや生活に必要な約束を幼児とともに考え、実践していく。	4	教員自評「生活指導上の課題解決への取組」実施80%以上	4	学校評価「思いやりの心の育成」回答80%以上	保護者との連携を深め、時間や場面、状況に応じて対応できるよう、園内で話しあい、指導の方向性を統一できるようにしてきた。	保護者とは、さらに個人面談での相談や学級での懇談を通して、幼児の成長のために必要なことを確認し連携する。	A	A	
			3	教員自評「生活指導上の課題解決への取組」実施70%以上	3	学校評価「思いやりの心の育成」回答70%以上					
			2	教員自評「生活指導上の課題解決への取組」実施60%以上	2	学校評価「思いやりの心の育成」回答60%以上					
			1	教員自評「生活指導上の課題解決への取組」実施60%未満	1	学校評価「思いやりの心の育成」回答60%未満					
	○幼児の安全を確保するための取組等を行う。	安全指導：避難訓練を毎月実施する。適時、安全な遊び方やルールを身に付けるよう指導する。	4	教員自評「安全指導計画取組」実施80%以上	4	学校評価「安全対策への取組」回答80%以上	毎月の避難訓練や安全指導の積み上げによって、約束を守り、よく考えて行動することができるようになってきている。	2階からの滑り台を使った避難をさらに積み上げを推進する。	A	A	
			3	教員自評「安全指導計画取組」実施70%以上	3	学校評価「安全対策への取組」回答70%以上					
			2	教員自評「安全指導計画取組」実施60%以上	2	学校評価「安全対策への取組」回答60%以上					
			1	教員自評「安全指導計画取組」実施60%未満	1	学校評価「安全対策への取組」回答60%未満					
○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営を行う。	主任教諭を中心に各分掌の役割や進捗状況を確認し、幼児教育を推進する。	4	教員自評「園務分掌取組」実施80%以上	4	学校評価「教育目標への取組」回答80%以上	園の特色を理解し、園長の経営方針のもと、全教職員で教育活動に取り組んでいる。	限られた職員でのチームでの対応をより一層充実させていく	A	A	園長先生を中心に、職員がしっかりと結束し、園児に対してきめ細やかな教育をしていると思う。	
		3	教員自評「園務分掌取組」実施70%以上	3	学校評価「教育目標への取組」回答70%以上						
		2	教員自評「園務分掌取組」実施60%以上	2	学校評価「教育目標への取組」回答60%以上						
		1	教員自評「園務分掌取組」実施60%未満	1	学校評価「教育目標への取組」回答60%未満						

園の管理運営	○幼児の実態に合わせた教育目標設定及び評価を行う。	毎日の反省評価に加え、年2回の自己評価反省を実施する。園内研や会議を月1回設定し、教育課程反省、編成を行う。	4	教員自評「学級経営取組」肯定的回答80%以上	3	4	学校評価「幼児の自己発揮」回答80%以上	4	週案を毎週立て、発達段階に照らして、目標を設定し、遊びや活動を行い、保護者に評価を得ている。	その時期までに育っている力を見極めながら、計画の改善をすすめていく。	A	A	
			3	教員自評「学級経営取組」肯定的回答70%以上		3	学校評価「幼児の自己発揮」回答70%以上						
			2	教員自評「学級経営取組」肯定的回答60%以上		2	学校評価「幼児の自己発揮」回答60%以上						
			1	教員自評「学級経営取組」肯定的回答60%未満		1	学校評価「幼児の自己発揮」回答60%未満						
園の管理運営	○教育環境・設備等の整備を行う。	教職員の危機管理意識を高めるため、幼稚園防犯体制を確認、訓練等を毎月実施する。	4	教員自評「園内や園庭の設備、環境の整理整頓実施率」80%以上	3	4	学校評価「教育環境整備や施設安全管理」肯定的回答80%以上	4	月一回安全点検、毎日の環境整備を行い、常に幼児の安全確保に努めている。	継続的に取り組み、安全で発達に即した保育環境を整えていく。	A	A	
			3	教員自評「園内や園庭の設備、環境の整理整頓実施率」70%以上		3	学校評価「教育環境整備や施設安全管理」肯定的回答70%以上						
			2	教員自評「園内や園庭の設備、環境の整理整頓実施率」60%以上		2	学校評価「教育環境整備や施設安全管理」肯定的回答60%以上						
			1	教員自評「園内や園庭の設備、環境の整理整頓実施率」60%未満		1	学校評価「教育環境整備や施設安全管理」肯定的回答60%未満						
家庭・地域連携	○教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組を行う。	園だより、学級だより、ホームページの更新を月3回以上、コドモンによる保育活動の伝達は随時、保育参観、保育参加参観、保護者会を年3回以上実施し、幼稚園教育を発信する。	4	教育活動の発信 週4回以上	3	4	学校評価「教育活動の様子発信」肯定的回答80%以上	4	保護者の行事参加、コドモンによる園便りやクラス便り、写真による幼児の育ちや姿を随時配信。地域へのホームページによる教育活動の発信が、高い評価になっている。	引き続き、「見える化」することに重点を置く。	A	A	
			3	教育活動の発信 週3回以上		3	学校評価「教育活動の様子発信」肯定的回答70%以上						
			2	教育活動の発信 週2回以上		2	学校評価「教育活動の様子発信」肯定的回答60%以上						
			1	教育活動の発信 週2回未満		1	学校評価「教育活動の様子発信」肯定的回答60%未満						
	家庭・地域連携	○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進する。	地域の意欲教育力を生かしたゲストティーチャーによる英語活動、運動遊びや親子らっこ図書など合わせて毎月1回以上行う。	4	ゲストティーチャーによる教育活動の実施 年20回以上	4	4	学校評価「ゲストティーチャーによる教育活動」肯定的回答80%以上	4	保護者・地域から理解や協力を多大にいただき、園が支えられている。	さらに、特色の「人のかかわり」の定着を図り、保護者や地域との連携を深めていく。	A	A
				3	ゲストティーチャーによる教育活動の実施 年15回以上		3	学校評価「ゲストティーチャーによる教育活動」肯定的回答70%以上					
				2	ゲストティーチャーによる教育活動の実施 年10回以上		2	学校評価「ゲストティーチャーによる教育活動」肯定的回答60%以上					
				1	ゲストティーチャーによる教育活動の実施 年10回未満		1	学校評価「ゲストティーチャーによる教育活動」肯定的回答60%未満					
	家庭・地域連携	○保護者や地域からの要望を踏まえ教育を実施する。	適時、行事や保育参観でのアンケートの実施、保護者との個人面談を年2回実施する。	4	適時保護者アンケートの実施 80%以上	4	4	学校評価「適切に対応」肯定的回答80%以上	4	保護者会、個人面談、参観及び行事ごとのアンケートを行い、保護者に結果を示し対応してきたことが評価されている。	継続的に取組んでいく。	A	A
				3	適時保護者アンケートの実施 70%以上		3	学校評価「適切に対応」肯定的回答70%以上					
				2	適時保護者アンケートの実施 60%以上		2	学校評価「適切に対応」肯定的回答60%以上					
				1	適時保護者アンケートの実施 60%未満		1	学校評価「適切に対応」肯定的回答60%未満					

○令和7年度 幼稚園経営報告のまとめ（総括）

学校運営連絡協議会では、学校評価の回収率と100%というのは、毎日、保護者と顔を合わせ互いに関係を築いているからであろう。各々丁寧にされていることが素晴らしいという評価をいただいた。

今後も、子供を中心とした教育活動を進め、より一層、地域や保護者からご理解とご協力がいただけるよう、親しみやすい幼稚園経営をすすめていく。